

佐野市景況レポート

令和3年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

コロナ禍と仕入価格の上昇より景況感悪化

【 令和3年7～9月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲37.5、前期（6月期）比▲3.4ポイントと、市内事業所の景況感は再度悪化しました。

利益DI指数▲47.2（前期比▲8.0）、売上高DI指数▲39.6（前期比▲6.3）と悪化しました。仕入価格DI指数36.9（前期比+3.6）に対し、販売価格DI指数▲0.4（前期比0.0）と材料・仕入価格が上昇するも販売価格には転嫁できない状況にあります。

【 令和3年10～12月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲33.9（前期比▲4.5）と、業況悪化を予想しています。売上高DI指数▲33.5（前期比▲3.1）、仕入価格指数34.4（前期比+8.7）、販売価格指数0.4（前期比+3.6）と、売上高DI指数は悪化、仕入価格DI指数の大幅な上昇を見込むなど、3か月後も9月期と同様の厳しい見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントの特徴は、①原料・仕入価格の上昇、②材料・部品等の入手難、③コロナ禍の影響・不安です。前回のコメントに比べ、ワクチン効果の期待が減少し、先行きの不安・不透明感が増加しているように見えます。

本アンケートにて、新型コロナウイルスの影響を79%の事業所で受けた結果が出ました。前期（R3/6期）75%に比べ4%の増加と深刻度がさらに増しました。一方、直近では緊急事態宣言の解除、新型コロナ向け飲み薬の開発などより光が射してきたと思いたいです。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和3年7～9月期)		見通し (令和3年10～12月期)	
業 況	▲37.5		▲33.9	
売 上 高	▲39.6		▲33.5	
販 売 価 格	▲0.4		0.4	
仕 入 価 格	36.9		34.4	
労 働 力	▲18.1		—	—

*天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

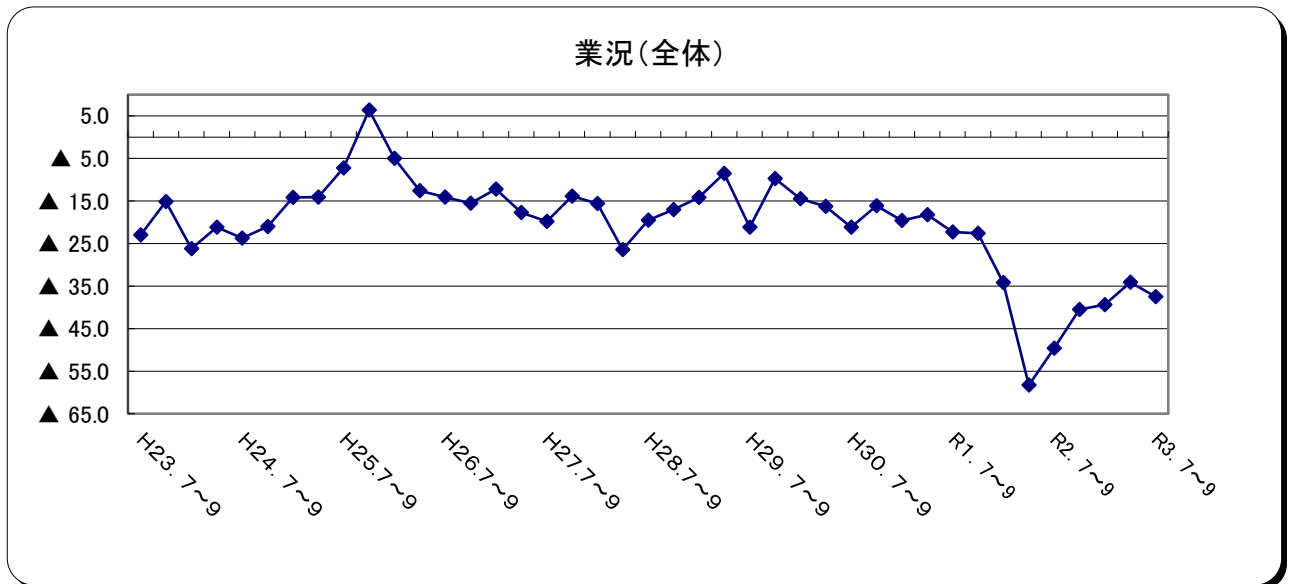
☆ 業況について（令和3年7～9月期実績）



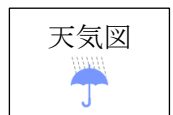
全業種DI指数▲37.5、前期比3.4ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業0.0ポイント、②機械・金属製品製造業▲3.9ポイント、③設備業▲10.0ポイント、④その他の製造業▲27.3ポイント、⑤卸売業▲28.3ポイント

良い
↑
悪い



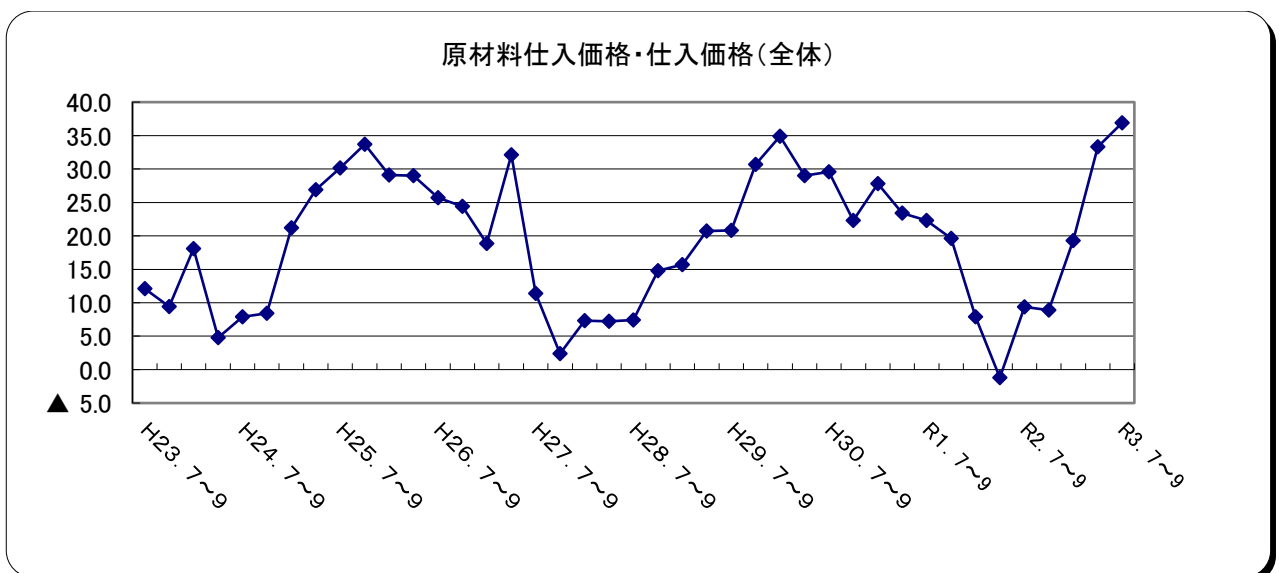
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和3年7～9月期実績）



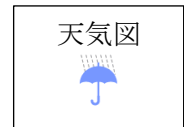
全業種DI指数36.9、前期比3.6ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業62.1ポイント、②小売業（飲・食料品）57.4ポイント、③機械・金属製品製造業44.0ポイント、④設備業、飲食店42.9ポイント、⑤卸売業39.6ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和3年7～9月期実績）

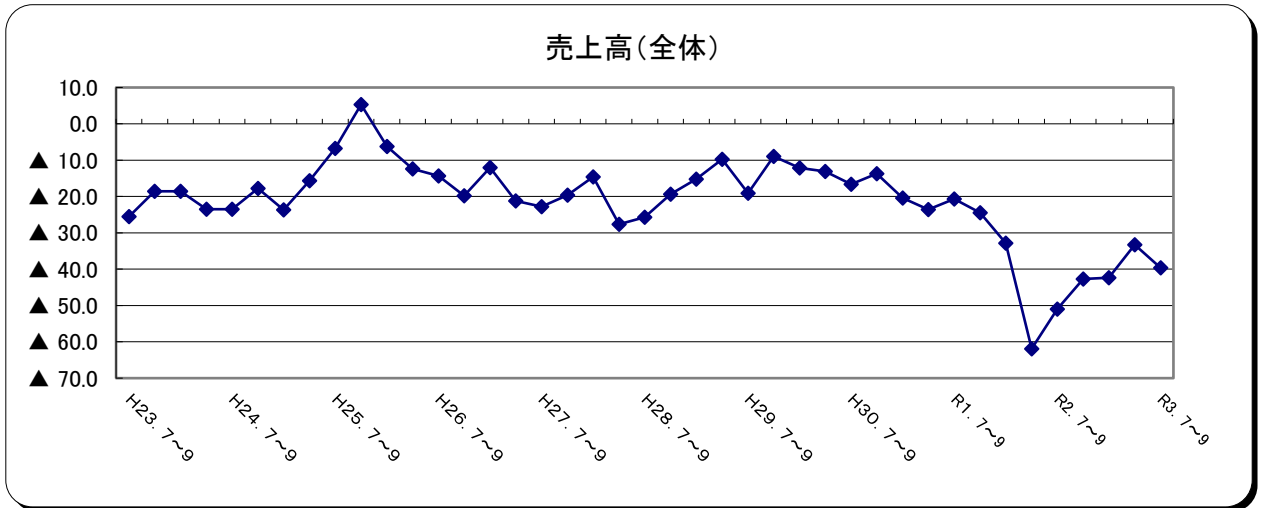


全業種DI指数▲39.6、前期比6.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製品製造業 3.9ポイント、②建設業▲7.9ポイント、③その他の製造業▲20.9ポイント、④設備業▲21.4ポイント、⑤卸売業▲24.0ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和3年7～9月期実績）

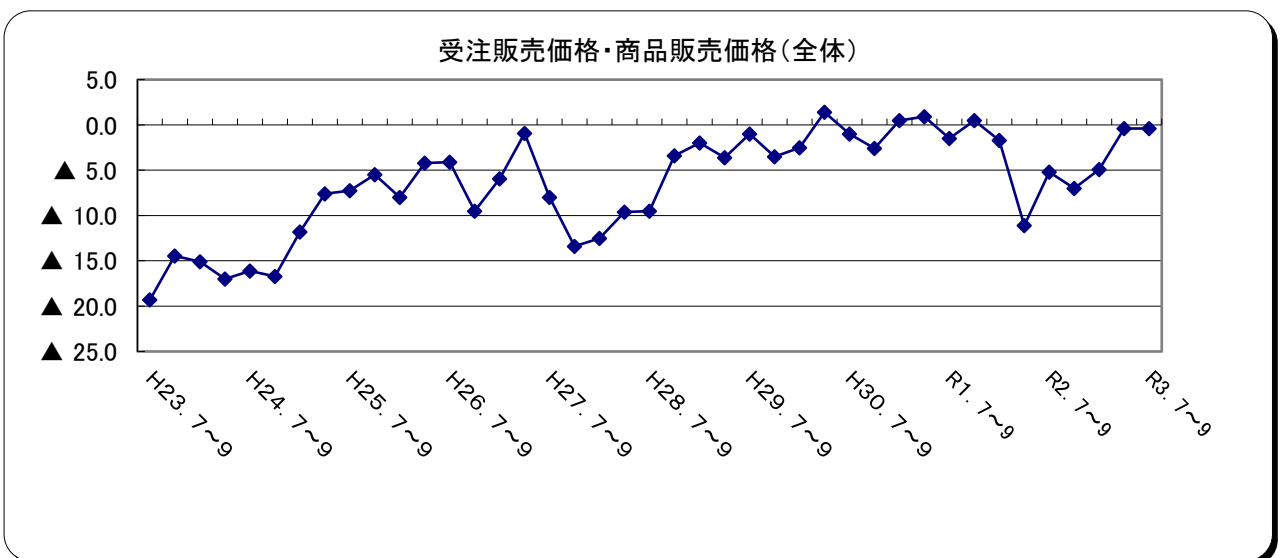


全業種DI指数▲0.4、前期比0.0ポイント横ばい

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 27.3ポイント、②小売業(飲・食料品)17.0ポイント、③食品製造業 5.5ポイント、④卸売業 5.3ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業 4.3ポイント

上昇
↑
↓
下落



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和3年7～9月期実績）

天気図



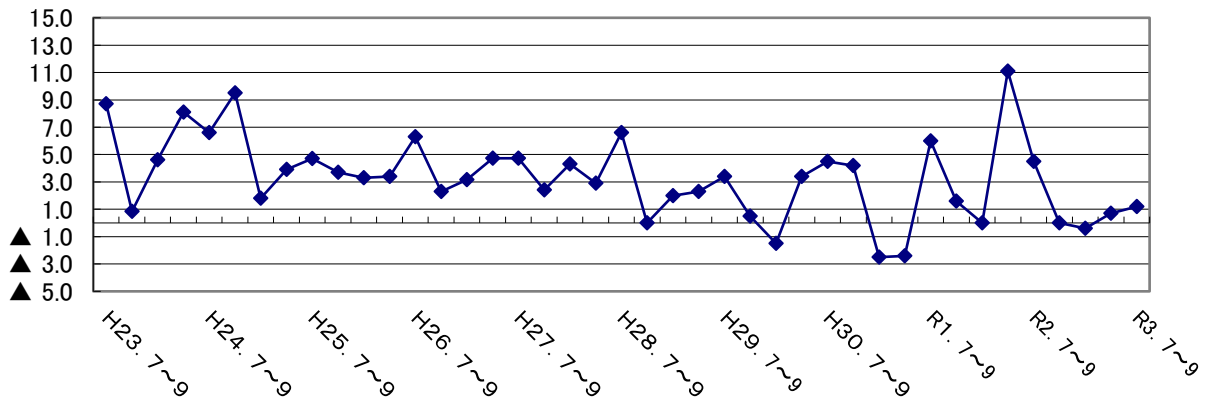
全業種 DI 指数 1.2、前期比 0.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 20.9 ポイント、②小売業（飲・食料品）17.0 ポイント、③繊維品製造業 16.7 ポイント、④食品製造業 5.7 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 4.8 ポイント

過大
↑
↓
不足

製品（材料）・商品在庫(全体)



☆ 利益状況について（令和3年7～9月期実績）

天気図



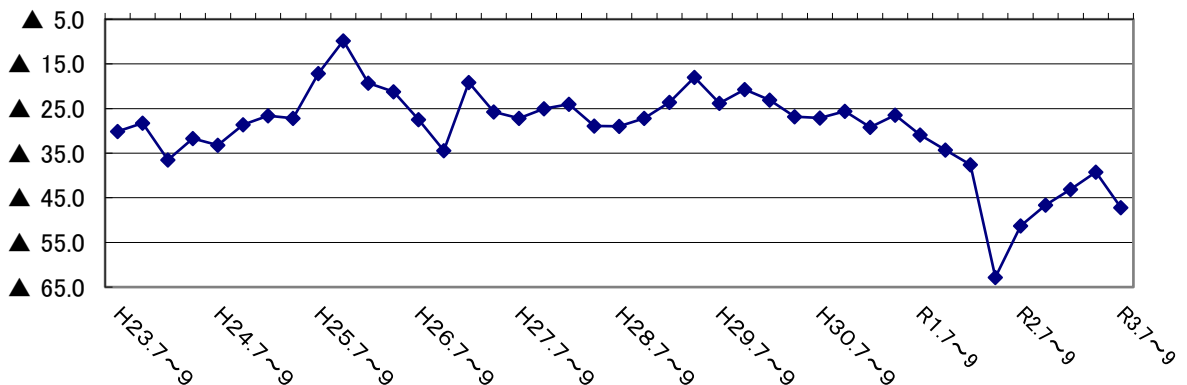
全業種 DI 指数 ▲47.2、前期比 ▲8.0 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 ▲15.8 ポイント、②建設業 ▲20.0 ポイント、③その他の製造業 ▲36.6 ポイント、④卸売業 ▲39.6 ポイント、⑤サービス業 ▲47.4 ポイント

増加
↑
↓
減少

利益状況(全体)



☆ 資金繰りについて (令和3年7~9月期実績)

天気図

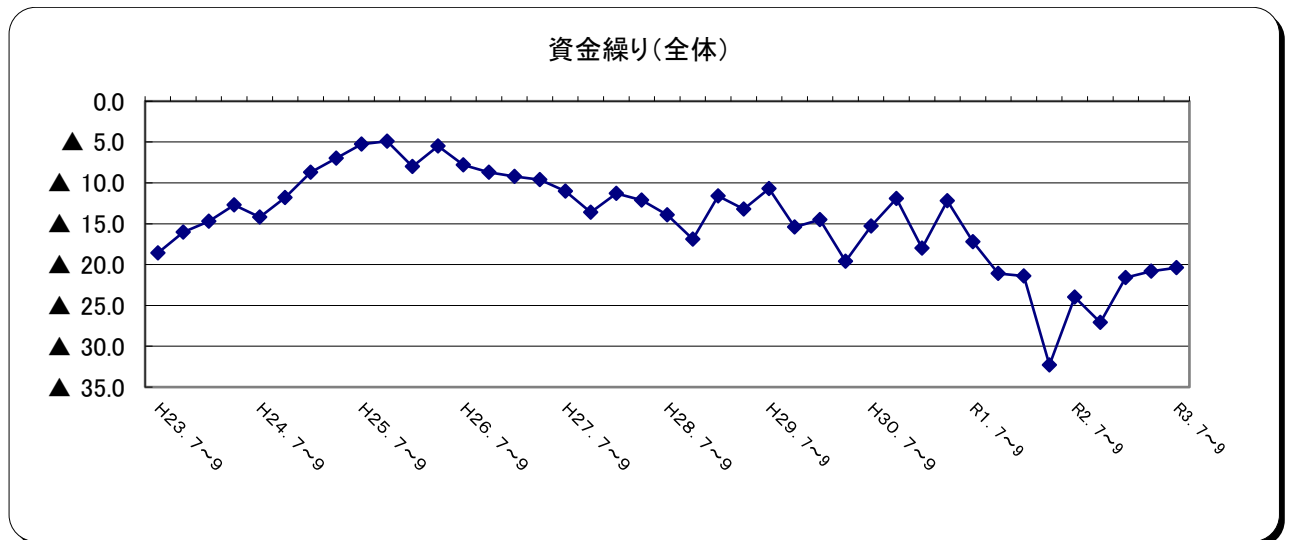


全業種 DI 指数▲20.4、前期比 0.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 0.0 ポイント、②卸売業▲5.3 ポイント、③機械・金属製造業▲7.3 ポイント、④建設業▲7.5 ポイント、⑤食品製造業▲12.0 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和3年7~9月期実績)

天気図

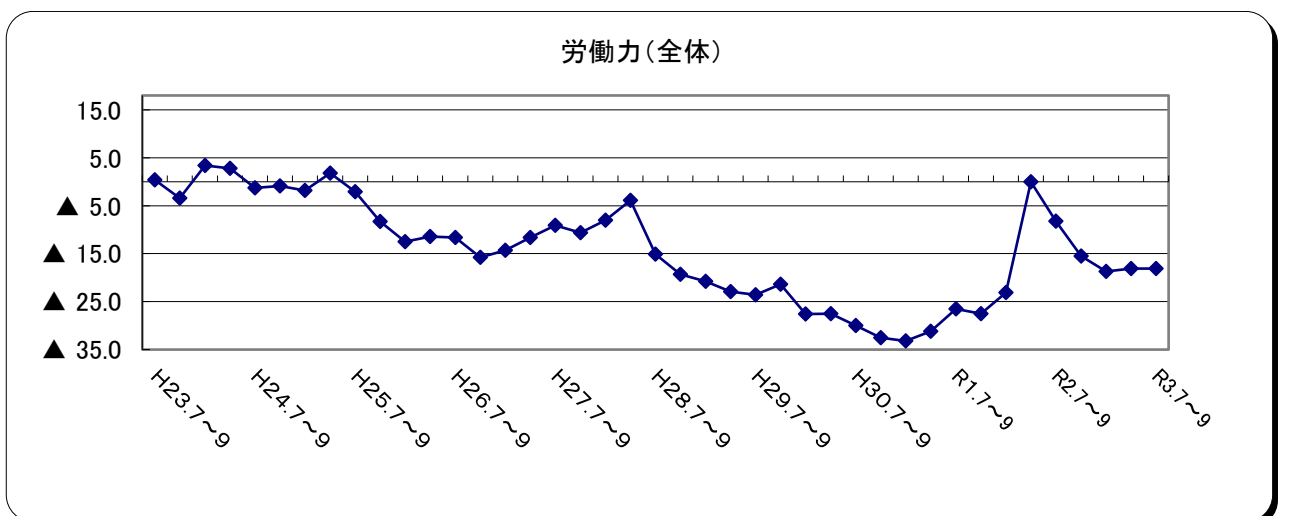


全業種 DI 指数▲18.1、前期比 0.0 ポイント横ばい

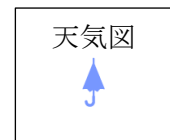
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業 8.1 ポイント、②小売業(飲・食料品)5.7 ポイント、③飲食店▲4.3 ポイント、④その他の小売業(大型店含む)▲7.3 ポイント、⑤卸売業▲17.0 ポイント

過剰
↑
↓
不足



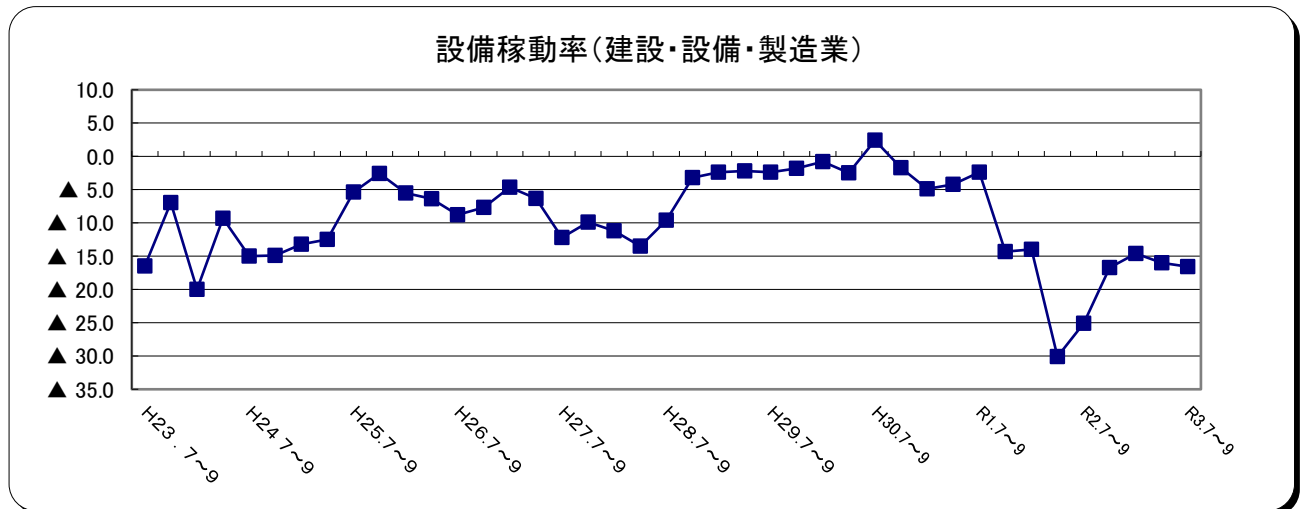
☆ 設備稼働率について (令和3年7~9月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数 ▲16.6、前期比 ▲0.6 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①機械・金属製品製造業 ▲3.7 ポイント、②設備業 ▲14.8 ポイント、③建設業 ▲15.4 ポイント、④食品製造業 ▲30.6 ポイント、⑤繊維品製造業 ▲33.3 ポイント

高い
↑
低い



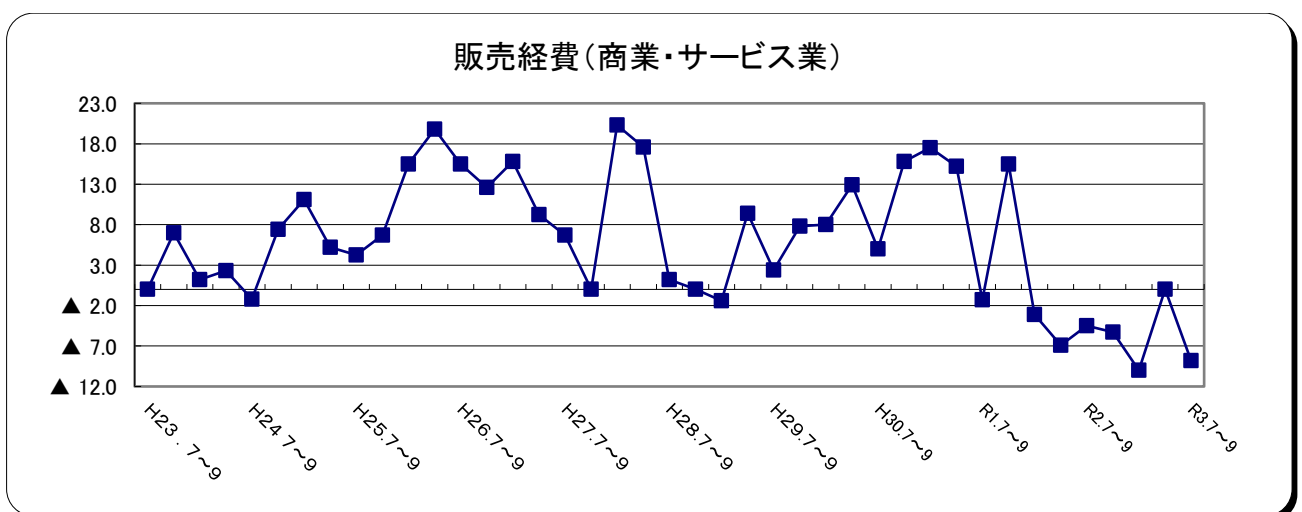
☆ 販売経費について (令和3年7~9月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 ▲8.8、前期比 ▲8.8 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①サービス業 ▲3.6 ポイント、②卸売業、小売業(飲・食料品) ▲5.5 ポイント、③飲食業 ▲9.1 ポイント、④その他の小売業(大型店含む) ▲18.5 ポイント、

増加
↑
減少



☆ 今後3ヶ月先（令和3年10～12月期の見通し）の業況について

天気図



全業種DI指数▲33.9、前期比▲4.5ポイント低下

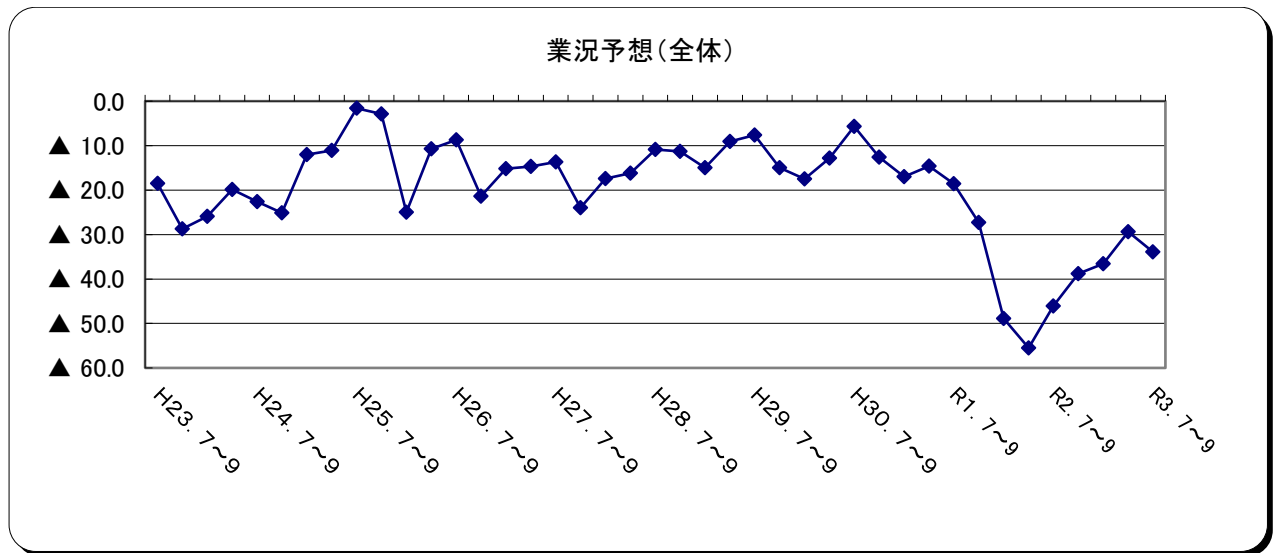
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 7.5ポイント、②建設業 0.0ポイント、③卸売業▲15.8ポイント、
- ④設備業▲26.3ポイント、⑤その他の製造業▲28.6ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和3年10～12月期の見通し）の売上高について

天気図



全業種DI指数▲33.5、前期比▲3.1ポイント低下

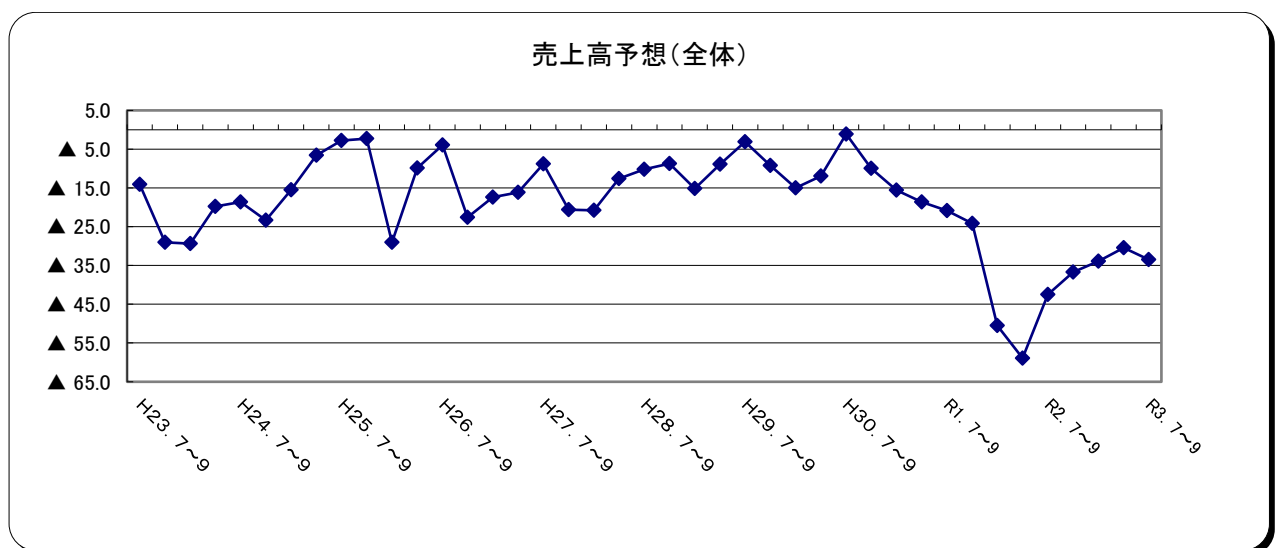
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲3.8ポイント、②卸売業▲5.5ポイント、③建設業▲7.7ポイント、
- ④その他の製造業▲14.3ポイント、⑤サービス業▲27.3ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和3年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

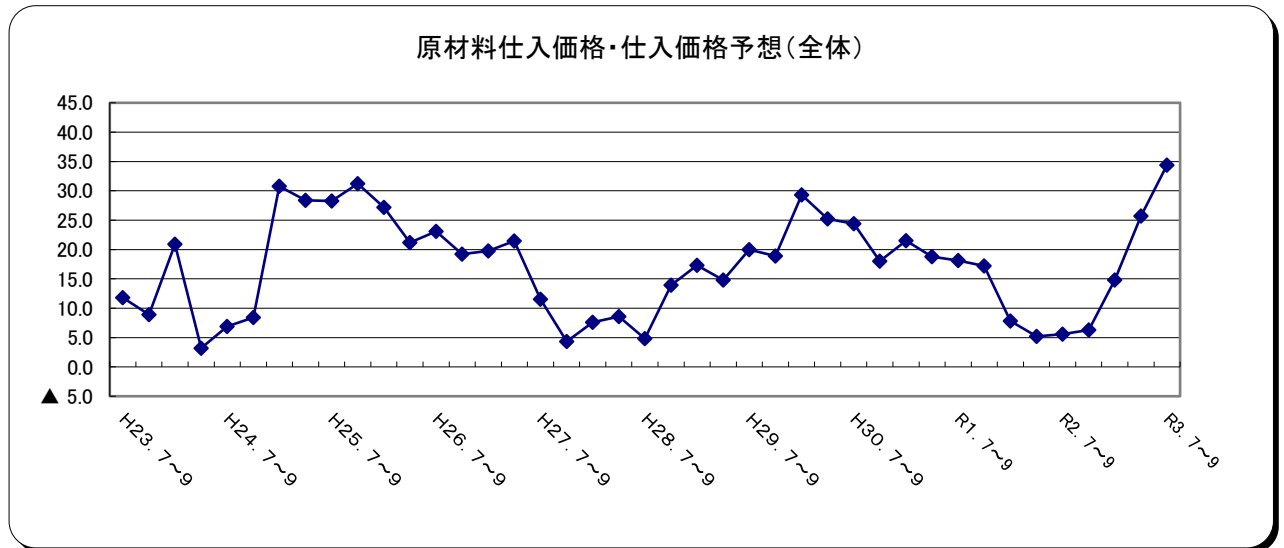


全業種 DI 指数 34.4、前期比 8.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 54.1 ポイント、②飲食店 52.4 ポイント、③機械・金属製造業 48.6 ポイント、④繊維品製造業 42.9 ポイント、⑤設備業 36.8 ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和3年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

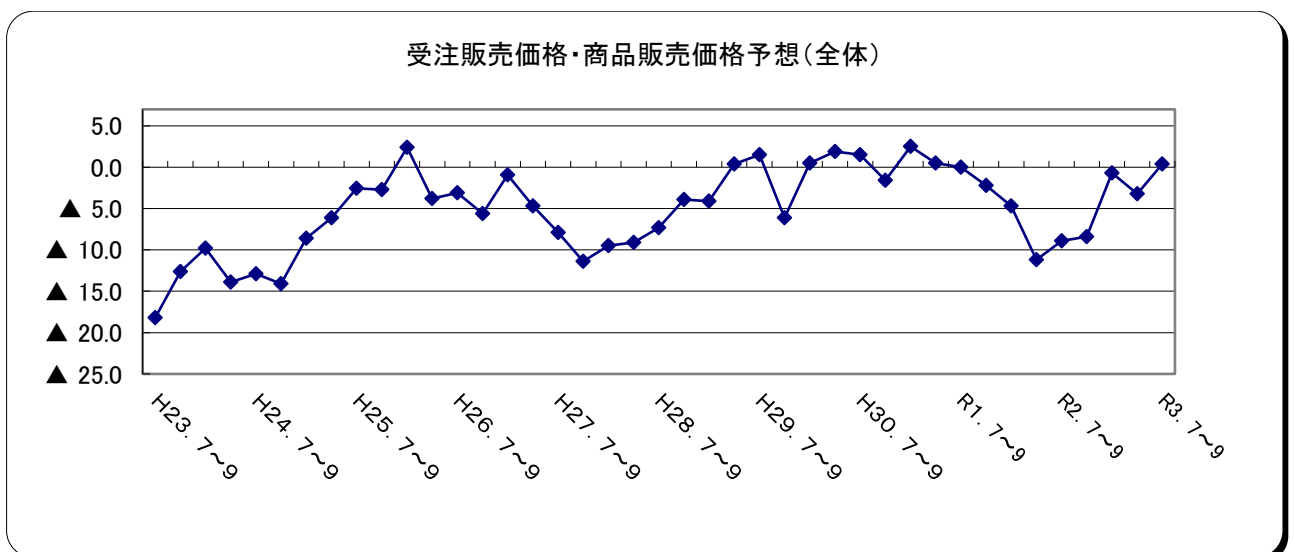


全業種 DI 指数 0.4、前年比 3.6 ポイント上昇

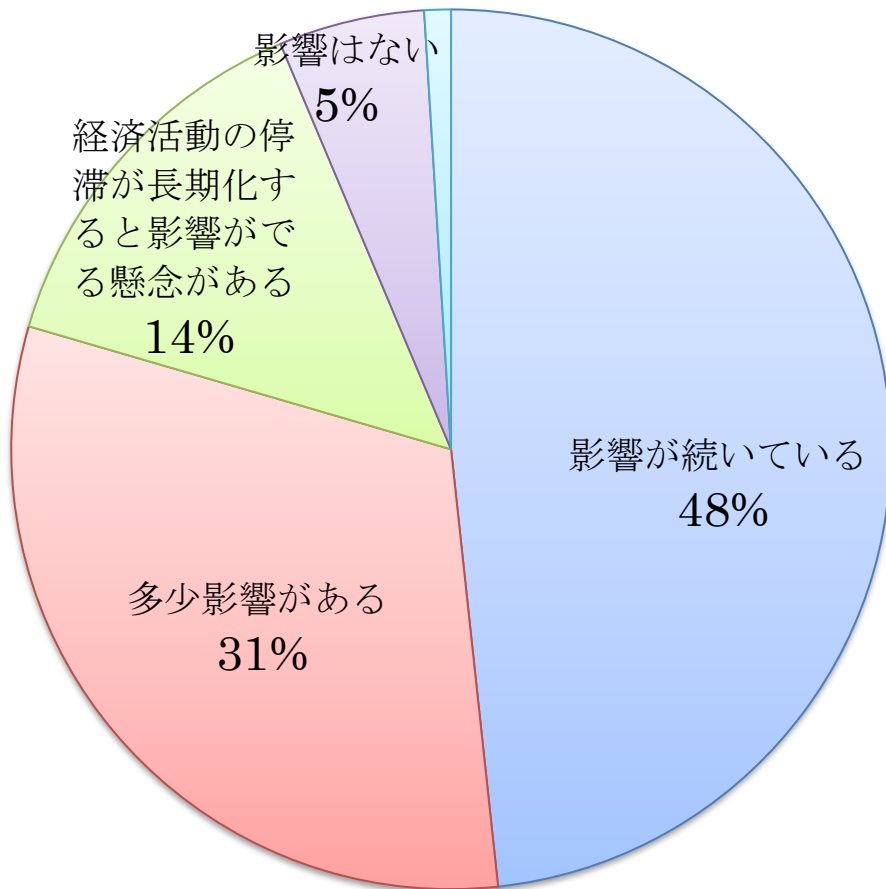
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品) 23.1 ポイント、②卸売業 10.3 ポイント、③食品製造業 5.5 ポイント、④化学・プラスチック製造業 4.2 ポイント、⑤機械・金属製造業 3.6 ポイント

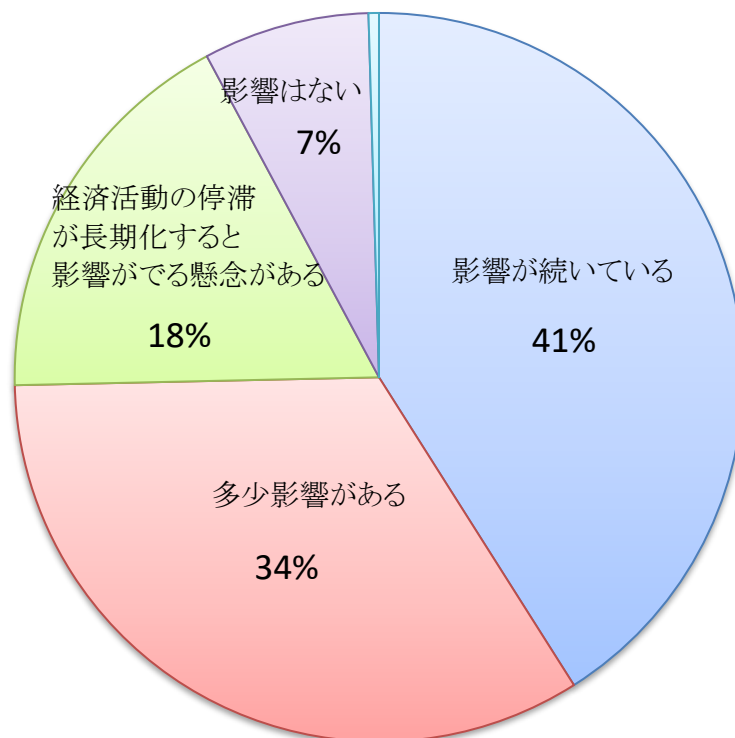
上昇
↓
下落



新型コロナウイルスの影響について 約8割の事業所に影響が出ている



令和3年4月～6月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・自公政権が続いてワクチン接種が加速すれば景気は回復すると思う。
- ・7月からコンクリート製品の出荷量が減少している為、新たな販促を開拓していく必要があります。関連業種業務拡大も考える必要があるのかもしれない。
- ・コロナ関連で感染者や濃厚接触者が出ると、工事が止まったりすることを考えると先行きが不安である。
- ・ウッドショックにより材価が上昇しているが、川上から川下への流通が悪く木材がとんであるている状況、流通先を見つけるのが大変です。
- ・来年は国体の開催県ですので、体育施設関係の仕事に期待します。我々の業界は学校・施設等が安全にならないと期待できないです。ワクチン接種率が低く遅れている中で伸ばしていかないと景気は良くなれないと思います。
- ・緊急事態宣言等が長引くと家を建てる人が少なくなる感じがする。
- ・ウッドショックが年末まで続きそうですので、その影響だけ心配です。

設備工事業

- ・東南アジア諸国でのロックダウンにより、現地工場が稼働停止しているため部品の供給が停止しているため、一部の商品の受注停止や納期遅延の事態となっております。
- ・今回のウイルスの状況化はありがたいと考えております。経営のお勉強になっております。
- ・先行きが不透明で、これからが不安である。

繊維品製造業

- ・政策失敗や政権交代等で株が下がらないように。
- ・長引くコロナの影響により、先が見えぬ状況。もっと政府や経済界にて、理解して頂きたい。いつまで続くか不安であります。

食品製造業

- ・先が見えず、どうなるのかさえない状況が続いています。しかし前に進まなければなりません。本当に厳しい局面です。
- ・天候不順が続く野菜の調達、仕入に大きな影響が出ております。
- ・コロナによる経済ダメージが少しずつ広がってきている。派出に売上・利益減とはなっていないが、前年と比べると細かな部分も含めてトーンダウンしている。特に半導体が関係している電子機器・設備は納品まで時間がかかり、様々なスケジュールに遅れが生じている。
- ・景気が悪いのに物価が上がり、この後は人件費も上がる。政府は対策とってくれるのか？日本大丈夫か？
- ・契約社員の募集をしていますが、なかなか応募が来ない状況です。

機械・金属製品製造業

- ・新型コロナウイルス感染対策をしながらの生産活動であり、状況は先行き不透明となっております。
- ・仕入価格の上昇が止まりません。
- ・材料仕入れ価格の上昇と納期の遅れが出ている。
- ・自動車部品においては半導体不足の為、現在は生産調整の局面にある。しかし工作機械部品は欧州などの好調により高水準に生産が継続している。
- ・経済活動が停滞の為仕事が少ない。
- ・ワクチン接種2回済の人が60%とか？働き盛りの若い人たちはまだまだです。そちらの

数字の方が重要だと思います。家庭内感染で10才未満の子供の発症!!防げない状態はどうしたら良いのでしょうか?不安な毎日です。

- ・キバン(半導体)が入ってこないので仕事が出来ない。
- ・コロナによる海外の部品が製造されず、日本への供給が不能になった事が影響大。一マインナスへ。

化学・プラスチック製品製造業

- ・7月は注文が有りましたが、8・9・10月注文はほぼ10%ぐらいです。(コロナ前)
- ・原材料の価格上昇が続く。一部には入手が困難な材料が発生している。
- ・新型コロナウイルスによる新規客先及びルートの動きが取りづらい状況です。
- ・新型コロナウイルスの影響拡大でアジアの工場が一時的に閉鎖されるなどし、部品不足となり減産(特に自動車メーカー)の動きが広がっており、弊社も自動車用の製品に売れ行きが落ち込んでいます。
- ・車用半導体の生産が世界的においつかず、当社も生産数が先月より3割減となっていてしばらく続く見込み、又原材料の入荷も遅れている。
- ・夏にピークがあるので少し落ちついている所。受注残が少ない。先が見えない。従業員の出入りが多い経費がかかる。工場設立中今後が大変。
- ・同会社にて3つの業種をやっていますが、1ヶ月ごとにどれかが良くなりどれかが悪くなる。なかなか売上げが半分になることなどないが不景気です。

その他製造業

- ・顧客先によって「ばらつき」がある。コロナの良い影響が出ている客先は注文が増え、飲食店関係の店舗は注文が減っている。全体として平均現状維持状態にある。
- ・アスファルト・コンクリート共に受注は減少しているが、漸く復調の兆しが出て来ており、今後に期待したい。
- ・景気の停滞感があり、前向きなチャレンジや投資を進めにくい感がある。
- ・コロナの影響もあってか?景気もいまひとつの様様。

卸売業

- ・コロナ禍・ウッドショックの影響が大きい。先行き好転の兆しが見えない。更なる公的の何らかの補助があると希望が持てる。
- ・新型コロナ収束に期待。輸出入の船賃等が今後(いつ)落ち着くのかがわからず価格設定がむずかしい。
- ・コロナ緊急事態宣言により、営業活動も思うように出来ないのが痛い。
- ・仕入価格の上昇が続いている。一部の商品で品薄による入手困難な状況が発生している。
- ・感染再拡大及び首相交代による経済への影響が心配です。
- ・コロナよりも半導体不足の影響が出てきています。一難去ってまた一難。

小売業(飲・食料品)

- ・コロナ禍で時短・休業により、飲食店への卸売りに影響がでている。先が不透明である。
- ・コロナが早くおさまる事です。
- ・緊急事態宣言により居酒屋の営業ができない。先が見えないのが苦しい!
- ・少しずつ景気が良くなる様願います。
- ・客足が戻ってくると緊急事態宣言が発令され客足が減少する。その繰り返して先行きが不安です。
- ・原材料の値上げが続いている為、10月中には商品の値上げをしないとイケない。コロナでイベントや学校への売上げも伸びなやんでいます。賃金の値上げもしなくてはならない。大変です。
- ・いつになったら景気が良くなるのやら?
- ・例年の事です。暑い夏は売上が落ちます。イベントも当分はないと思うので売上の見込みはない。寒い冬に向かって期待したいと思います。

その他の小売業(大型店含む)

- ・当社は販促が売れないと商品が動かないので、新型コロナ緊急事態宣言中は営業もできない。
- ・8月中旬頃から来客数が目に見えて減少。
- ・7月8月9月と売上が減少して苦しいです。特に9月が悪いです。
- ・対面販売では低調。自販機(アウトレット従業員用)では好調。
- ・きちんと各自が健康管理(コロナ)しているので、来客数はかなり低い。まだまだ1年近くは終息しないのでは？
- ・緊急事態宣言により客数大巾に減少しています。コロナウイルスの感染状況で今後大きく状況は変わると思います。
- ・中小企業向け支援金を増やしてほしい。(飲食店だけではなく!!)
- ・コロナにより来客が少なく売上が減少しています。
- ・専門店への客離れが多大だと思えます。

飲食店

- ・店舗での売上は期待できず、仕出しも法人関連が減少している。
- ・会議所の方々のご指示、ご協力に本当に感謝致します。これからもよろしくお願い致します。
- ・日銀の短観を見て景気が回復傾向にあるとおっしゃっている方もいるようですが、飲食店の状況を見ますととてもそうは思えません。
- ・変わらず。
- ・テイクアウト需要が増加し現在直接的な打撃はないものの、今後は一部商材で仕入価格の値上げの予想があり、経済活動の停滞とあわせて売上現状維持と仕入価格率の上昇抑制が求められると考えています。
- ・去年の同時期よりも悪いです。
- ・時短営業及びアルコール禁止が続くかぎり改善はない。
- ・“コロナ”の感染症分類を2種から5種に変更が最重要だ!!早い市民生活の自由と経済活動が戻る事を願う!!
- ・回復するのでしょうか?お酒が出せないのはつらい!!
- ・コロナウイルスが収束しない限り売上上昇は見込めない。
- ・8月~9月の間休業が続き、実感としての景況の動向がつかみにくく回答できませんでした。
- ・コロナウイルスによる影響が大きいです。
- ・県の緊急事態宣言に伴う休業要請の影響が大きい。
- ・仕入価格の上昇が気になります。
- ・非常に悪すぎる。早くコロナが終息してほしい。
- ・コロナによる影響で食材の高騰がかなりあります。在庫の調整と工夫したメニューで乗り切ります。
- ・仕入価格はどこも上昇。アルコールが出せないで単価ダウン。
- ・緊急事態宣言中で休業しています。早く営業できる事を切に望んでいます。
- ・7月下旬より現在まで長期休業(緊急事態宣言等)しているので返答しかねます。補助金につきましては未だ入金がありません。
- ・家族連れのお客様がほとんどなくなりました。
- ・来春までは、がまんの時期が続きそう。

サービス業

- ・コロナの影響はあります。補助金、助成金について詳しく教えてほしい。
- ・先が読みにくい状況であり、融資を受けることも検討しているが返済計画を立てるのに確定要素が少なく不安がある。
- ・今後の景気が予測できないため、雇用が難しいです。
- ・コロナウイルスによる悪影響を感じさせない程の不動産ニーズがあります。住宅方面より事業用ニーズが高まっています。
- ・7月から8月急に悪くなった。
- ・オリンピックも終わり未だ収束の兆しが見えないコロナウイルスの影響も有り、景気が

戻るには時間を要すると思う。

- コロナウイルス感染防止の為にまん延防止や緊急事態宣言が何度も発出され、その都度営業時間短縮に協力しており、営業収入減に困っております。又原油の高止まりの為に石油製品(ネット、ボール等)や鉄骨が大幅高となっており経営を圧迫しております。
- (株)遊遊冒険クラブはイベントができずダメージがあります。
- 3~5月に多少の回復の市場の動きは見られましたが、第5波により再び悪化。結婚式延期も出始める。さらに人員減による売上高大幅減が深刻な課題。見込み売上よりも大幅(50%)減しています。
- コロナ関係で建築資材が値上がり気味。不安定な価格なのでお客様に進めるタイミングが難しい。
- 8月に出た緊急事態宣言は影響するような気がしています。最近の感染者の増え方には不安を感じています。
- 5月・6月・7月は人の動きはあったが、コロナの影響が停滞している。持続化補助金の採択について辞退した。
- 先行きが(コロナの状況も含め)全く予測できない。出来ることをやっていくしかないかなあと思っています。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和3年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、221社（回答率76.2%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	22社
② 設備工事業	17社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	11社
② 食品製造業	15社
③ 機械・金属製品製造業	22社
④ 化学・プラスチック製品製造業	26社
⑤ その他の製造業	14社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	16社
② 小売業（飲・食料品）	15社
③ その他の小売業（大型店含む）	22社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$\text{D I 方式は、} \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所